

Smile

インタビュー 35

Woman!

この人の仕事のカタチ

どこか輝いてみえる「仕事」をしているあの人にズームアップ。



「自然体、平常心」を心掛け ご祈願される方の思いを 大切に伝えたい

有森 美智子さん

龍之口八幡宮 神職

明治の頃から「勝負事・勝ち運の神様」として崇敬され、現代では「受験の神様」としても有名な龍之口八幡宮。美しい眺望を眺めることのできるこのお宮で、神職に従事する有森美智子さん。お宮まわりや境内を丁寧に掃除して、「掃き清める」ことを職員と共に、毎日欠かさず行っているという。まだ数少ない「女性神職」としての日々を、壮大な自然に囲まれた龍之口八幡宮と共に過ごしている。

神職に携わる姿勢と思い

神職としての仕事を始めて、今年で4年目の有森さん。「先祖代々、神職に携わっている家系なので当初は将来私たちの代になれば、夫のサポート（現在夫の祥勝さんは宮司を勤めている）を中心に、裏方から龍之口八幡宮を支えている」と思っていたんです。でも、人員が減り、神職に携われる人が必要になったので、神職としてお宮を手伝うことのできる資格を取得したんです。

当初は裏方に徹しようと考えていた有森さんですが、実際に神職として神様にご奉仕している内に自分自身にもいくつか心の変化が生まれてきたという。「私たちの役目は、ご祈願に来られた方達の思いをそのまま、神様にお届けするとい

うものなので、常に自然体、平常心でいることを心掛けています。そして、いつも背筋を伸ばして生きようということ。これは以前から思っていたましたが神職の仕事が始めてから、今までより、一層強く思うようになりました」

龍之口八幡宮の魅力

国有林に囲まれた豊かな自然と岡山市内を見渡せる景色は本当に素晴らしい。運が良いれば、キジやウズラなどの鳥達を見ることもできる。「私がある日の早朝お宮を掃除している時には、きれいな雲海を見ることができました。これら自然が持っている清々しさや季節のうつろいを肌で感じるができるのが大きな魅力です」と語る有森さん。



例年、初日の出や初詣には多くの人でにぎわう。龍之口八幡宮に関する由緒やお宮までの登山ルートなどはホームページで詳しく説明されており、事前に様々な知識を得て行けば、参拝がより一層充実したものになりそうだ。